

宇部港本港地区航路浚渫工事等のお知らせ

国土交通省中国地方整備局
宇部港湾・空港整備事務所 保全課
TEL 0836-37-6700
FAX 0836-37-6702

次のとおり、宇部港本港地区航路の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近を航行する船舶は十分ご注意ください。

1. 工事作業期間

種別	作業船種	最大隻数	期間	作業時間	警戒船
潜水探査	潜水士船	4隻	平成30年4月上旬～平成30年4月下旬	日の出	2隻
浚渫	スパッド式グラブ浚渫船	1隻	平成30年5月上旬～平成30年8月下旬	～日没	2隻

※原則として、土日、祝日は作業しませんが、工事の進捗状況によっては行うことがあります。
※期間は、各作業の実施状況により変わる場合がありますので、必要の都度、「6. 作業情報」にてお問い合わせください。

2. 作業の場所

宇部港本港地区航路……潜水探査、グラブ浚渫の各作業区域は図-1に示す通りとします。

3. 作業概要

3-1. 共通事項

1) 本工時に使用する作業船には当該工事に従事している船舶であることを一般船舶に明示するため、社旗と安全旗を掲げます。

3-2. 潜水探査(図-2参照)

1) 潜水士船(最大4隻)から各々潜水士が1名潜り、簡易磁気探査機を使用して探査区域内を移動しながら作業します。

3-3. 浚渫工事(図-3参照)

1) スパッド式グラブ浚渫船(1隻)により浚渫します。

4. 安全対策

4-1. 共通事項(図-4参照)

1) 潜水探査および浚渫工事の際は、警戒船であることが容易に識別可能な表示板とともに、警戒の標識を掲げた警戒船を配置します。

4-2. 潜水探査(図-2参照)

1) 潜水士船には、国際信号旗(A旗またはA旗板)を掲げ、潜水作業中であることを航行船舶に明示します。

4-3. 浚渫工事(図-3参照)

1) スパッド式グラブ浚渫船には、海上衝突予防法の規定による灯火または形象物を掲げます。

4-4. 作業中止及び退避

- 1) 現地の天候により危険と判断した場合は工事作業を中止します。(波高1.0m以上、風速10m/s以上、視程1,000m未満)
- 2) スパッド式グラブ浚渫船は、夜間及び作業を行わない日は作業区域外の作業船退避場所に待機します。

5. 航行船舶へのお願い

5-1. 共通事項(工事作業中の可航幅および船舶航行経路については、図-5、6の通り)

- 1) 作業現場付近を航行する場合は、操船に影響のない範囲で減速すると共に、出来る限り作業船団から離れて航行して頂きますようお願いいたします。
- 2) 宇部港内を航行する場合は、国際VHFを活用すると共に、特に16chを常時聴取いただきますようお願いいたします。
- 3) AIS搭載船にあたっては、AISの正しい運用をお願いいたします。

5-2. 情報収集及び行き会い回避の協力依頼

- 1) 宇部港の施工区域および付近を通航する船舶については、前日までに「宇部支援業務室」へ情報提供をお願いいたします。
- 2) 下記対象船舶は施工区域付近での行き会い回避をお願いいたします。

施工区域	潜水探査	浚渫
A,B海域	全長73～170m未満の船舶	全長76～170m未満の船舶

5-3. 航行船舶の可航幅の確保について

- 1) 作業中に下表に該当する船舶が入出港する場合は、施工区域を通過する30分前までに作業区域での作業を中止し、退避完了します。(※施工区域付近の通過予定時刻の2時間前に「宇部支援業務室」へ連絡をお願いいたします。また、通過30分前に確認の連絡を行うようお願いいたします。)

施工区域	潜水探査	浚渫	退避場所
A海域	全長170m以上の船舶	全長170m以上の船舶	航路外(図-1)
B海域	全長110m以上170m未満の船舶	全長115m以上170m未満の船舶	A海域(図-5、6)

6. 作業情報について

本工事に関する問い合わせ先は次のとおりです。
(問合せにあたっては内容を正確に把握するため、可能な限り日本語でお願いします。)

＜宇部支援業務室＞
作業情報、運行調整に関する問い合わせ先
TEL : 0836-35-2291
FAX : 0836-35-2292

E-mail: ube-anzen@athena.ocn.ne.jp
HP: <http://seikaibo.ecweb.jp/ube/>

図-1 潜水探査、浚渫工事区域図

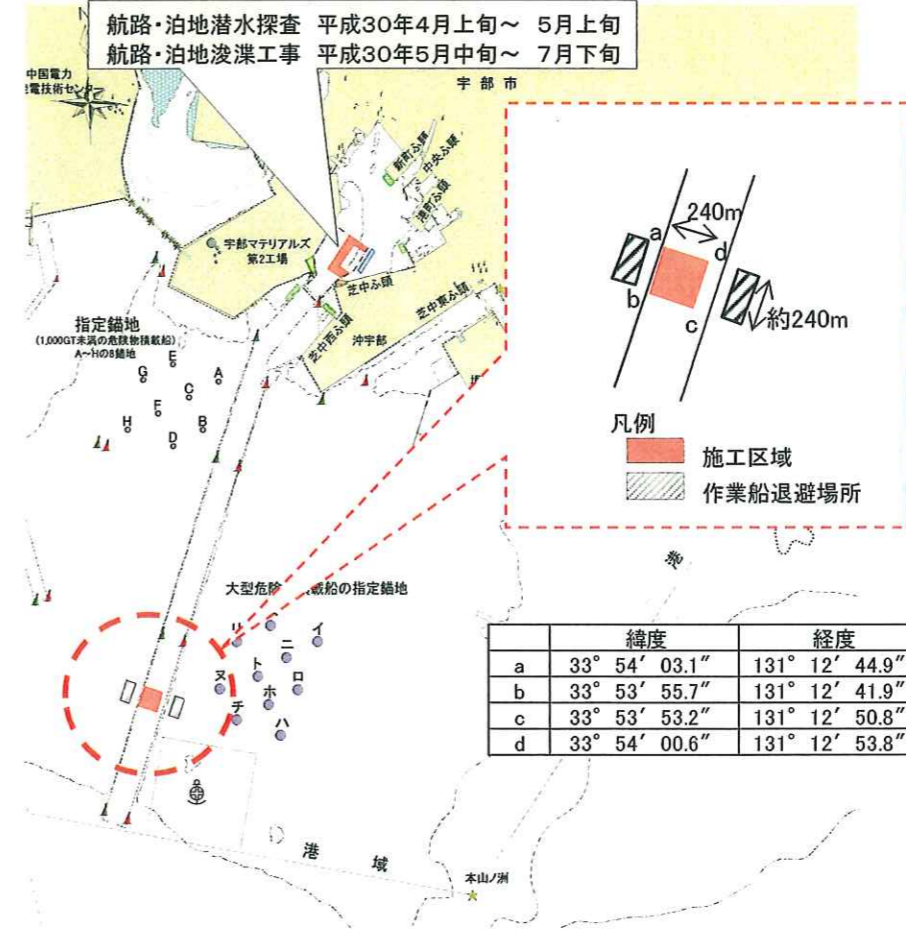


図-2 潜水士船

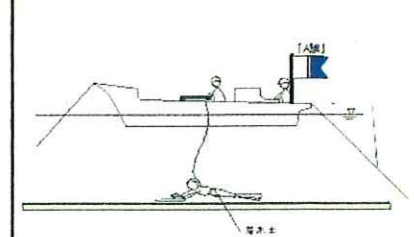


図-3 浚渫船

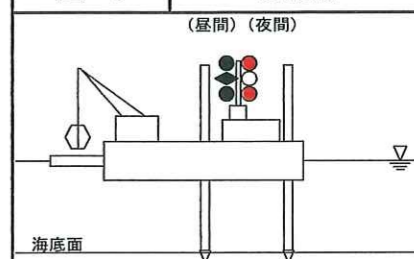


図-4 警戒船

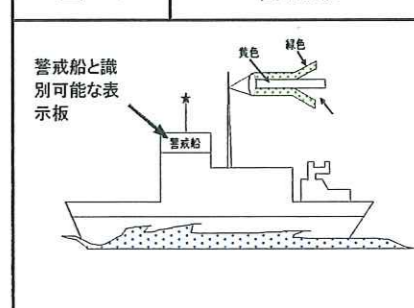


図-5 潜水探査例と可航幅

【A海域及びB海域施工時】

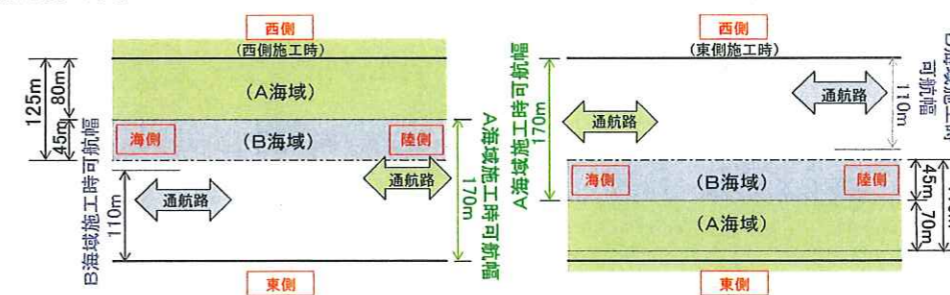


図-6 浚渫例と可航幅

【A海域及びB海域施工時】

